

巻頭言

畜産団体の再建について

惣津 律士

牛価の極度の値下りの影響を受けた和牛界の低調さは、本年になってやや持ち直しを見せてはいるものの、家畜市場の収入源に依存している郡畜連の大部分は深刻な様相を示している事は御承知の通りである。勿論関係者としては経費の節減に依る人員整理はもとより、販路拡張等に依る収入源の増加に必死の努力を傾倒されているが、個々の畜連の力のみでは到底再建の方途が見出し得ない現状は甚だ遺憾である。私はかねてから不振郡畜連の再建の第一の方途は、立地条件を大体同じくする団体が統合して経済力の拡大を図る事であるとの結論を以って、かつて県畜連の役員会で関係者にこの事を申上げたが、その当時は大多数の方々が趣旨は賛成だが、実行が困難であるとの意見であったように記憶している。

其後市町村合併の促進が活発化されて郡市の地域に変化を生じ、更に相つぐ農作物の不凶と牛価の暴落は市町村農協の経営も困難ならしめたために、それ等を母体とする郡畜連は非常な打撃を受けた事は勿論であって、昨年の豊作と和牛肉の加工用向への増加に伴う資源の減少からもたらされた牛価の立直りに依って、やや怖復したとは言うものの、その受けた痛手はけだし甚大であって、有畜農民の利益代表である郡畜連をこのままに放置する事は許されない段階に到達している。私は1日も早く関係者間に於て打開策が

協議せられん事を切望して止まないものである。

私は統合によって家畜市場の整理はもとより、整理後の中心市場の改善、更に畜産農民の利益擁護のための事業への発展が期し得られるものと思っている。

更に私は一步進めて県段階の畜産経済団体の統合を提唱したい。これ等の団体はその設立当時に於ては夫々の理由を有して其後斯業に貢献して来たのであるが、畜産物の消費流通の拡大強化が何より必要であると共に畜産農民個々の経営の合理化が強く要求されている今日に於ては、経済力の結集に依る事業の拡充と農家への指導の統一が極めて必要である事は申上げるまでもない。有畜農家に対する技術指導体制の確立は一応畜産会の今後の適切なる運営に依って軌道に乗るものと思われるが、安定した畜産経営への移行にはこれと併行して畜産団体の経済力の培養に依って招来せられる農家へのサービスが必要であると思っている。私のこの提案に対して、関係者の御批判を乞うと共に不振畜産関係団体の再建に対して、深い御援助と御教導を御願ひして止まない次第である。